

<プレスリリース>

上演ラインナップ決定!

WORLD THEATRE FESTIVAL SHIZUOKA ふじのくに⇄せかい演劇祭 2021

会期：2021年4月24日(土)～5月5日(水・祝)

会場：舞台芸術公園、駿府城公園



ふじのくにせかい演劇祭 2021 ガイドパンフレット/表紙：本多麻紀 (SPAC) ©加藤孝

[ふじのくに⇄せかい演劇祭 2021]

主催：SPAC-静岡県舞台芸術センター

令和二年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業 ふじのくに芸術祭共催事業

SPAC「ふじのくにせかい演劇祭 2021」についてのお問い合わせならびに取材のご希望は

SPAC - 静岡県舞台芸術センター 広報担当：内田・坂本 までお問い合わせ下さい。

Tel : 054-208-4008 (舞台芸術公園) / E-mail : uchida@spac.or.jp sakamoto@spac.or.jp

今年のゴールデンウィークは、野外で、まちで、心が動く！

【くものうえ↑】を経て【ふじのくに⇄】へ

SPAC-静岡県舞台芸術センターで毎年ゴールデンウィークに開催している「ふじのくに⇄せかい演劇祭」。“ふじのくに（静岡県）と世界は演劇を通じてダイレクトに繋がっている”というコンセプトのもと、国内外の最先端の舞台芸術を静岡で広く体験していただくイベントとして2000年より毎年開催してきました。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により史上初めて中止となりましたが、同期間に「くものうえ↑せかい演劇祭」をオンラインで開催。来日予定だったアーティストと宮城聰とのトーク企画や、俳優不在の野外劇場「有度」をライブ配信した『おちょこの傘持つメリー・ポピンズのいない劇場』をはじめ、49にもものぼるコンテンツを連日配信しました。

そして2021年、演劇祭はふたたび「ふじのくに」で皆様をお迎えします。

野外の劇空間で「リアル」に出会う

コロナ禍での開催となる今年の演劇祭は全演目が野外上演。昨年中止となった待望の新作、宮城聰×唐十郎『おちょこの傘持つメリー・ポピンズ』を野外劇場「有度」にて発表いたします。そしてもう一作品、駿府城公園・東御門前広場では、ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ演出の『三文オペラ』を新演出でお届けします。

さらに仏アヴィニオン演劇祭／ニューヨークで絶賛を受けた宮城演出 SPAC 作品『アンティゴネ』が、いよいよ駿府城公園での凱旋公演を果たします。同時開催のストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」も更にパワーアップし、駿府城公園を中心とした市街地エリアに登場。新緑の街が、ふたたび演劇やダンスで彩られます。

■ 「ふじのくに⇄せかい演劇祭」とは

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）では、1999年に開催された世界の舞台芸術の祭典「第2回シアター・オリンピックス」の成功を受けて、2000年より「Shizuoka 春の芸術祭」を毎年行い、各国から優れた舞台芸術作品を招聘・紹介してきました。SPACが活動15年目を迎えた2011年からは、名称を「ふじのくに⇄せかい演劇祭」と改め、新たなスタートを切りました。「ふじのくに⇄せかい演劇祭」という名称には、「ふじのくに（静岡県）と世界は演劇を通して、ダイレクトに繋がっている」というメッセージが込められています。静岡県の文化政策である「ふじのくに芸術回廊」と連携しながら、世界最先端の演劇はもちろん、ダンス、映像、音楽、優れた古典芸能などを招聘し、静岡で世界中のアーティストが出会い、交流する——そんなダイナミックな「ふじのくにと世界の交流（ふじのくに⇄せかい）」を理念としています。

■ SPAC (Shizuoka Performing Arts Center)

公益財団法人静岡県舞台芸術センター（Shizuoka Performing Arts Center : SPAC）は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007年より宮城聰が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。演劇の創造、上演、招聘活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。13年、全国知事会第6回先進政策創造会議により、静岡県のSPACへの取り組みが「先進政策大賞」に選出。18年度グッドデザイン賞を受賞、無形の活動が一つのデザインとして高く評価されました。

● 宮城聰(みやぎ・さとし) SPAC 芸術総監督 プロフィール

1959年東京生まれ。演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘、またアウトリーチにも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営をおこなっている。17年『アンティゴネ』をフランス・アヴィニオン演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演し、アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。他の代表作に『王女メデア』『マハーバーラタ』『ペール・ギュント』など。04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。18年第68回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。



サプリメントとしての肉体

いま、一体何が「信用できる」情報源でしょうか？

いわゆるマスコミがかつてより信用されなくなっているのは確かでしょう。でも、それはどうしてでしょうか。マスコミが流す情報が以前より怪しくなったのでしょうか。あるいは2011年の原発事故でマスコミを信用しない人が増えたと言われていますが、それが原因でしょうか。

僕にはむしろ、マスコミの流す情報にはいまだに何がしかの「権威」があり、その「権威」に、ある種の「におい」を直結させて、反感を感じる人が増えたんじゃないか、と思えます。マスコミが発信する情報の「内容」に疑問を持つ、というよりも、マスコミという存在そのものに反感を持つということです。で、その「におい」とは何かというと、つまりは「いま得をしている連中」

のにおい、「既得権層」のにおい、ということになります。権威というのは「いま力がある人たちがそれを保証しているから権威になるんだ、という側面は確かにありますからね。

もちろん本来は、情報を発信する者の信用度＝「権威」は、「既得権層が支持している」ということとは何の関係もないはずです。どれだけ広く深い取材をしているかとか、事実誤認がないか幾重にもチェックされているかとか、さらには「いま力がある人たち」から自由を保っているか、などが、時間をかけて実績として積み重なっていることが情報源としての「権威」のはずです。でも昨今は、「権威」というものはどれもこれも「いま得をしている人たち」を利するもの、と直結される傾向があるような気がします。

こういう傾向は、言うまでもなく、人間を「いま得をしている人たち」と「いま損をしている人たち」の二種類に分ける思考方法から発しています。この二分法で思考する人が増えたのは、日本の場合、「自分はだんだん貧しくなってきた」と感じる人が増えたことと軌を一にしているでしょう。たぶん日本以外の国でも同じことは起こっているんだと思います。

さて「権威ある情報」が「いま得をしている人たちを利するためのもの」ということになってしまうと、「いま損をしている人たちが耳を傾けるのは「権威のない情報」ということになります。すなわち無名の個人が発信している情報、もしくは、有名でも「あぶなっかしい」人、が発信している情報ですね。つまりいまの時代にオピニオンリーダーになろうと思ったら「何者でもない人」か「あぶなっかしい人」であり続ける、という作戦を採らねばならないわけです。矛盾というか皮肉というか・・・いや、やっぱりこれはまずいんじゃないでしょうか？

となると、いま世の中にとって重要なのは、「人間を敵と味方の二種類に分けないこと」と「物質的ではなく精神的に豊かさを感じる方法を開発すること」だということになります。

そして「敵と味方の二種類に分けない」ことは、SNS 上ではなかなか難しいですが、人の体と向き合うとあながち不可能でもありません。

ネットに欠落している「肉体」なるものを、いまを生きる人間は、絶えず補給していなければいけない。どうやら我々はそういう時代を生きているようです。

宮城 聡

上演ラインナップ 会期：4月24日(土)～5月5日(水・祝)

静岡県舞台芸術公園 野外劇場「有度」

唐十郎 × 宮城聡

『おちょこの傘持つメリー・ポピンズ』

4月28日(水)・29日(木・祝)・30日(金) 各日 18:00

SPAC 新作／演劇 上演時間：未定（120分以内） | 日本語上演／英語字幕 | 全席自由

演出：宮城聡 作：唐十郎 美術：カミイケタクヤ 出演：SPAC

アングラ熱は止まらない… 唐十郎 × 宮城聡、一年越し！待望の新作野外劇！！

さびれた傘屋を営む若僧・おちょこと訳アリの男・檜垣、彼らの前にメリー・ポピンズさながら突如として現れる謎の客・石川カナ。彼女は天使か、はたまた狂犬か——。1960年代以降の小劇場演劇をリードしてきた劇作家・演出家の唐十郎が描いた、切ない犬死にの哀歌（エレジー）が、宮城聡の手で今宵、日本平の夜空へ解き放たれる！！

本作は、昨年4月、新型コロナウイルス感染症の拡大により上演中止となったが、本番予定時刻に『おちょこの傘持つメリー・ポピンズのいない劇場』として野外劇場「有度」の空の舞台をライブ配信した。日没から約2時間、“不在”の時間を共有する試みは大きな話題を呼んだ。

駿府城公園 東御門前広場 特設会場

『野外劇 三文オペラ』

4月24日(土)・25日(日) 各日 18:00

音楽劇 上演時間：未定（120分以内） | 日本語上演 | 全席自由

演出：ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ 作：ベルトルト・ブレヒト 訳：大岡淳

音楽：原田敬子 衣裳デザイン：澤田石和寛

欲望にまみれた人間の愚かさを笑い飛ばせ！

混沌社会を生き抜く私たちのための痛快ドタバタ音楽劇

時代を超えて大きな影響力を持つブレヒトの代表作『三文オペラ』。貧民街を舞台に、主人公のギャングが悪徳起業家の娘との結婚をめぐり、騙しだまされ追い詰められて…待ち受けるのは大どんでん返しのハッピーエンド?! 社会への痛烈な風刺に満ちた物語が大岡淳の翻訳により七五調やラップも飛び出す現代日本語に落とし込まれ、イタリア演劇界を代表する演出家で大作オペラも多く手掛けるジョルジオ・バルベリオ・コルセッティは、これを陽気な笑いできほぐす。クルト・ヴァイルの名曲の数々も、観客の心をつかんで離さない。東京芸術祭2018にて様々なバックグラウンドを持つ俳優たちによって上演された野外劇が、「静岡版」として駿府城公園の広場にお目見え。欲望、権力、格差…そこに放り出された社会の不条理を怒るも笑うもあなた次第。

同時開催

駿府城公園 紅葉山庭園前広場 特設会場

東京2020 NIPPON フェスティバル共催プログラム

ふじのくに野外芸術フェスタ 2021 静岡 宮城聡演出 SPAC 公演

『アンティゴネ』

5月2日(日)～5日(水・祝) 各日 18:45

SPAC 新作／演劇 上演時間：105分 | 日本語上演／英語字幕 | 全席指定

構成・演出：宮城聡 作：ソポクレス 出演：SPAC

フランス・NYで絶賛された宮城聡 × SPAC の話題作が、いよいよ静岡に凱旋！

(詳細は別紙『アンティゴネ』のリリースをご覧ください)

演劇祭関連企画 新緑の静岡ならではのイベントも多数ご用意しています。多彩な関連企画もどうぞお楽しみに！

- お茶摘み体験をしよう！in 舞台芸術公園
- みんなの nedoco プロジェクト
- フェスティバルgarden (駿府城公園) ほか

同時開催！

ストリートシアターフェス

ストレンジシード静岡

5月2日(日)～5日(水・祝)

会場：駿府城公園内各所、静岡市役所・葵区役所前、静岡市民文化会館前など JR 静岡駅から徒歩圏内
料金：観覧無料 ※一部予約制の場合あり

いつもの街を劇場に変える、演劇とダンスなどが街にあふれ出るストリートシアターの祭典。
ゆっくり街を歩きながら静岡の街の魅力を再発見し、笑顔に花が咲く。
コロナ禍でも安心して楽しめる、野外のパフォーミングアーツフェスを展開します。

主催：静岡市 共催：SPAC-静岡県舞台芸術センター <https://strangeseed.info>

【出演予定アーティスト】(詳細は別紙「ストレンジシード静岡」のリリースをご覧ください)

多田淳之介(東京デスロック) + 高松ワークショップ Lab./ホナガヨウコ/明和電機/青年団/ロロ/kajii/村上慧/
鳥公園/大熊隆太郎(吉劇屋) × 達矢(サファリ・P) × SPAC ストレンジチーム/コトリ会議/ためパフォーマンス/
アグネス吉井/山崎皓司/Ran Run Tan*Mon Dan/MUNA-POCKET COFFEEHOUSE/劇団 Z・A/演劇ユニット
HORIZON/and more...

チケット

発売日 一般前売り開始 3月27日(土) 10:00～

料金 一般：4,200円 | ペア割引：3,700円(2名様で1枚につき) | ゆうゆう割引：3,500円 [満60歳以上の方]
学生割引：2,000円 [大学生・専門学校生] 1,000円 [高校生以下]
※その他グループ割引、障がい者割引がございます。

お取り扱い・お問い合わせ

SPAC チケットセンター **054-202-3399** (10:00～18:00・休業日 4/13 を除く)

〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡 2丁目 3-1 TEL: 054-203-5730/FAX: 054-203-5732

E-mail: mail@spac.or.jp

◆「ふじのくにごせかい演劇祭 2021」の最新情報は・・・

プレスリリース、SPAC 公式サイト、演劇祭 2021 特設サイトにて、随時お知らせいたします。

SPAC 公式サイト <https://spac.or.jp> Twitter: @_SPAC_ / Facebook: SPACshizuoka / Instagram: spacshizuoka

演劇祭特設サイト (3月10日オープン) <https://festival-shizuoka.jp>

広報担当：内田稔子 坂本彩子 計見葵 西村藍